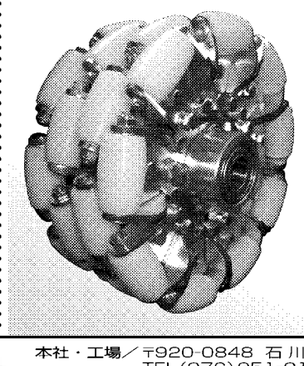
9月11日～14日は、東京ビッグサイトでお待ちしております。
Eco & Smart エコ&スマート
ハイブレックシリーズ
初公開の商品もご用意しております!!

国際物流総合展2012に参加します。
会場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）
弊社ブース：東3ホール
小間番号：3－111

豊かさを創造し、未来へ挑戦する 株式会社アテックス
本社 〒791-8524 愛媛県松山市衣山1-2-5 TEL(089)924-7162(営業直通)
担当／特販業務部 泉 ●お客様ダイヤル:0120-870866 ●http://www.atexnet.co.jp

e-DRIVE クイッカー 新製品
重量パレットの搬送を電動でスピーディーに!
ラクラク!スロットル操作!
型番：EQLM1500
最大荷重：1500kg

メビウスホイール 新製品
安定した直進性!
台車の直角移動を可能に!



型番：MBS200-4POM
車輪径：φ200
最大荷重：200kg

KYOMACHI 京町産業車輌株式会社
本社・工場／〒920-0848 石川県金沢市京町10番30号 TEL(076)251-0111(代) FAX(076)251-0012
東京営業所／〒135-0052 東京都江東区潮見2丁目1-3-407 TEL(03)5677-1055(代) FAX(03)5677-1066
大阪営業所／〒569-0065 大阪府高槻市城西町2-12-302 TEL(072)661-8062(代) FAX(072)661-8063
http://www.kyomachi.net

国際物流総合展2012

きょう開幕

物流に関するアジア最大の展示会「国際物流総合展2012 LOGIS-TECH TOKYO 2012」がきょうから14日までの4日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される。第10回を数える今回は「ロジスティクスの新たなステージへの挑戦～人・社会・地球のために～」をテーマに402社・1581小間が出展する。隔年で行われ、前回開催より約140小間拡大した。情報や技術交流の場として13万人の来場を見込んでいる。開場時間は10時から17時まで。入場料は1000円（事前登録および招待券持参者は無料）。

新たなステージへの挑戦

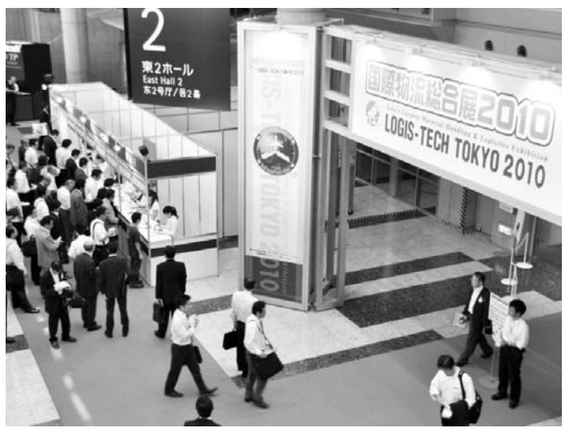
国際物流総合展は日本産業機械工業会、日本産業車両協会、日本パレット協会、日本運搬車両機器協会、日本物流システム機器協会、日本ロジスティクスシステム協会、日本能率協会の7団体による主催。1994年に第1回を開催してから2年に一度開催し、今回で10回目となる。

物流・ロジスティクスの高度化は、経営の効率化、コスト削減に大きく貢献する。会場では流通・製造・貿易などあらゆる業界に役立つ最新のソリューションを展示。今回は物流の環境や安全をテーマに提案しているものが増加した。再利用可能な包装資材や、低燃費・環境性能を強化したフォークリフト、居眠り運転を防止する製品、アルコールチェッカーなどが注目される。

また保管機器・仕分け・ピッキング・搬送の各種システムをはじめ、在庫やコスト管理に欠かせない情報機器・ソフトウエアなどが実機を使ったデモンストレーションやプレゼンテーションで紹介される。その他、業務改善のコンサルティングや物流機能の外部委託（アウトソーシング）などのサービスも提案される。

12日12時半からは「アジア物流戦略講演会」が行われる。経済のグローバル化や国内市場の縮小にともない、アジア圏における市場開拓は日本企業の成長にとって重要な要素となっている。講演ではヤマト運輸、沖縄県、全日本空輸の3社が、アジア進出に役立つ現地の配送情報や新たなロジスティクス情報を提供する。

その他、出展者によるプレゼンテーションセミナーも会期4日間で70以上が予定されている。セミナーの聴講は全て無料。会期中通して11時から16時50分まで展示ホール内の二つのセミナー会場で行われる。



三つの課題で集中展示

同展では、物流業界で特に重視されている三つの分野で展示コーナーを設けている。

一つ目は「スマートトラフィック～次世代を担う陸上輸送」。「環境」「安全」をキーワードとした陸上輸送を提案するゾーン。環境に配慮した商用車や安全に配慮した輸送周辺技術が展示される。飲酒や居眠り運転の防止対策も。

二つ目は「拠点進出ソリューション～企業の発展をサポートする」。立地環境から物流サービスまで拠点計画を進める上で必要不可欠な情報を企業や自治体が提案する。

三つ目は昨年に引き続き「環境にやさしい包装システム」ゾーンを設置。物流分野の重要な機能の一つである包装に焦点を当てる。省エネ・省資源・再利用・再資源化をキーワードに包装の最適化、破損削減、コスト削減を提案する。

組織委員会委員長ごあいさつ

グローバル規模で発展へ

山口　範雄
（味の素会長）

わが国経済は、リーマン・ショック以来の経済危機から立ち直りの兆しが出てきておりましたが、2011年3月11日に発生した東日本大震災によって大きな被害を受けました。現在、日本の経済状況は、サプライチェーンの復旧や生産回復により徐々に国内景気は落ち着きを取り戻しつつありますが、放射能汚染や風評被害、電力不足や円高進行による産業の空洞化など、取り巻く状況は深刻さを増しております。

世界経済もまた大きく変わりはじめ、環境保護やエネルギー問題、安全・安心の確立など、地球規模での課題が顕在化しはじめました。それに伴い、企業はこれまで以上にグローバルな視点で活動する必要に迫られ、グローバル規模での競争はますます激しくなってきております。企業がこのような競争に生き残るためには、世界規模での消費動向の把握・分析・予測ならびに、開発から調達・製造・販売に至るリードタイムの短縮は不可欠であります。そして、これらの問題の解決には、企業活動の根幹をなすロジスティクスの高度化・効率化が、環境・エネルギー・グローバル展開、あらゆる面で経営戦略上の重要課題であることは言うまでもありません。

このような状況のもと「国際物流総合展2012 LOGIS-TECH TOKYO 2012」が「ロジスティクスの新たなステージへの挑戦～人・社会・地球のために～」をテーマにきょう開幕します。21世紀の最重要課題である持続可能な社会の実現に向け、国内唯一の物流・ロジスティクスの専門展示会を、産業界を挙げて支援してまいります。

国内外より高い評価を得ております本展示会を、情報・技術交流、交易振興の場として活用していただくとともに、関係各位の積極的なご参加を賜りますようお願い申しあげます。

実行委員会委員長ごあいさつ

産業界の発展支える物流

昼間　祐治
（IHI顧問）

わが国を取り巻く経済環境は、サプライチェーンの分断など、経済活動に大きなダメージを与えた東日本大震災の影響が色濃く残りながらも、国民一人ひとりの意識の変化や企業努力が奏功し、生産活動の回復傾向など、明るい兆しも見え始めております。

一方、産業界においては、世界経済をけん引する中国・インドなど新興国のさらなる経済成長が予測され、製品開発力やコスト競争力の強化、環境負荷低減やCSR対応など、経営戦略の再構築が迫られております。

全体最適のサプライチェーン実現を担うロジスティクスの高度化・効率化は、企業の社会的責任を果たすうえでも、その役割はますます重要さを増していると言えるでしょう。

市場ニーズに合わせた現場オペレーションの高度化・多様化など、物流現場においても労働環境が著しく変化するなか、物流システム機器および物流サービスを提供する我々の英知を結集する場、「国際物流総合展2012 LOGIS-TECH TOKYO 2012」が、「ロジスティクスの新たなステージへの挑戦～人・社会・地球のために～」を統一テーマに、きょうから4日間開催されます。

今回で記念すべき10回目を迎える本展示会は、最新の物流システム機器、ソフトウエア、サービスなどが紹介され、ロジスティクスの高度化へ向け、活発な情報発信が行われる催しとして、産業界から高い評価をいただいております。

産業のさらなる活性化を目指し、アジア最大の物流・ロジスティクスの展示会である本展示会へ、関係各位の積極的なご参加を賜りますようお願い申しあげます。